

FunLogy MUSIC

サウンドバー



FunLogy

取扱説明書 **保証書付**

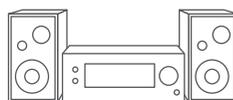
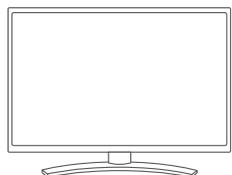
このたびはFunLogy製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書(保証書付)を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

本製品で出来ること

本製品では様々な機器に接続し音楽や映像の音をお楽しみいただけます。
本書の使い方を参照し、ご使用ください。

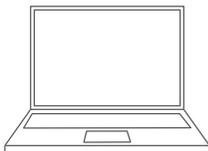
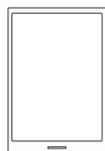
テレビなどの機器をケーブルで繋げて聞く

(12～16ページ)



シーンに合わせた音の設定

(9ページ)



スマートフォンなどの機器を無線で繋げて聞く

(10ページ)

USBメモリを繋げて聞く

(11ページ)

目次

安全上のご注意	1
---------	---

各部名称と働き

中身の確認	3
製品本体	3
タッチパネル	4
入力端子接続部	4
リモコン	5
壁掛け用部材	6

基本的な使い方

電源を入れる	7
入力モードを選ぶ	7
音量の調整	8
音声の再生 / 選曲	8
サウンドモードの切り替え	9
高音 / 低音の調整	9
電源を切る	9

接続の仕方

Bluetooth接続	10
USB接続	11
AUX接続	12
OPTICAL (光デジタル) 接続	13
COAXIAL (同軸デジタル) 接続	14
HDMI・HDMI(ARC)接続	15
TV(テレビ)に接続する	16

その他

こんなときは	17
主な仕様	19
保証・アフターサービス	21
無料保証規定	22
保証書	23

安全上のご注意

警告・安全上重要なお願い

FunLogy製品は安全に充分配慮して設計されていますが間違った使い方をされますと、火災や感電などにより人身事故になることがあり大変危険です。安全に正しくお使いいただくために次の注意事項をお守りください。

※記載の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。

電源コード・プラグに関するご注意



禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグの根本を直接引っ張り、決してコードを引っ張らないでください。

断線やショート、感電、火災などの原因となります。

電源コードを無理に曲げたり、束ねて使用しないでください。重いものを上に置かないでください。

断線やショート、感電、火災などの原因となります。

万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

濡れた手で製品や電源プラグを触れないでください。

感電や故障の原因となります。

電力供給には必ず純正の電源アダプタをご使用ください。

感電や故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用に関するご注意



禁止

製品を分解、修理、改造しないでください。

感電や怪我の恐れ、安全性、法令の遵守、および機能を損なう原因となり、製品保証が無効となります。またパーツなどのメンテナンスサービスには対応しておりませんので不具合発生時は販売店にご連絡ください。

設置に関して



禁止

強い磁力の近く、火の付いたろうそくなどの火気の近くに設置しないでください。

防水型ではないため、風呂場や雨の当たる場所、液体が入った物品を製品の近くに置かないよう注意してください。

液体が侵入すると、漏電によって感電や火災の原因となることがあります。

不安定な場所に設置しないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、サウンドバーが落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

本製品は、湿気、直射日光、埃っぽい場所を避けて保管してください。

本などの重たいものを機器の上に置かないでください。

万が一、異常が起きたら

万が一、異常な発熱、変な音、臭い、煙の発生、などの異常が起きたら、ただちに電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはFunLogy窓口(21ページ)にお問合せください。

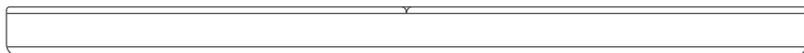
各部名称と働き

中身の確認

ご使用前に付属品がすべて揃っていることを確認してください。万が一足りないものがございましたら、FunLogyお問い合わせ窓口(21ページ)よりご連絡ください。

※ リモコン用電池(単4形乾電池)は付属しておりません。別途お買い求めください。

本体



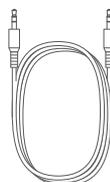
付属品



リモコン



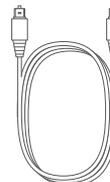
AC電源
アダプター



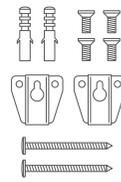
3.5mm ステレオ
ケーブル



HDMI
ケーブル



光デジタル
ケーブル



壁掛け用部材



取扱説明書
(保証書)

製品本体

上面



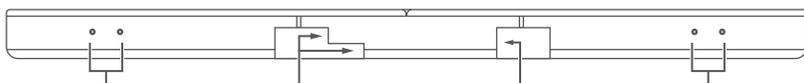
タッチパネル

正面



IR受信部

背面



LEDパネル

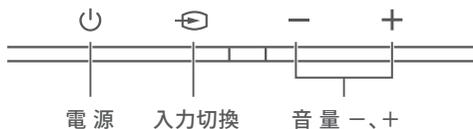
壁掛け固定部

入力端子接続部

入力端子接続部

壁掛け固定部

タッチパネル

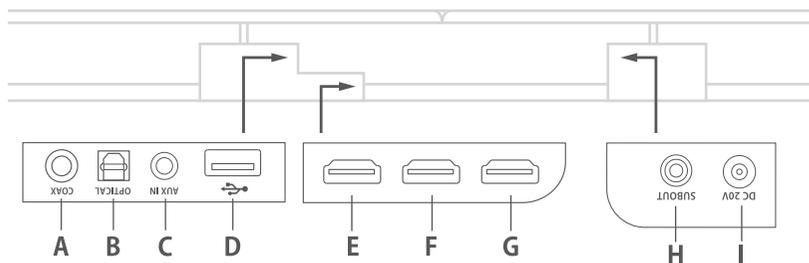


電源 入力切換 音量 -、+

※入力切換順 : AUX > bt > USB* > OPT > COX > HDMI (*USBメモリ接続時)

入力端子接続部

※各種接続の仕方は12～16ページ参照



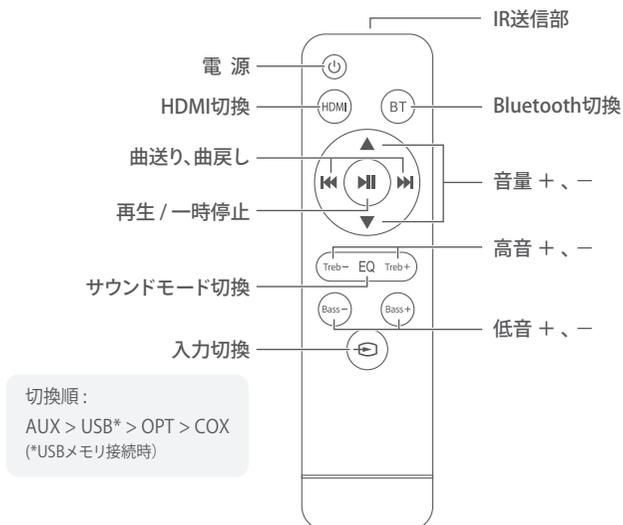
A - COAX	同軸デジタルケーブル用	F - HDMI 2	HDMIケーブル用
B - OPTICAL	光デジタルケーブル用	G - HDMI 1	HDMIケーブル用
C - AUX IN	3.5mmステレオケーブル用	H - SUB OUT	サブウーファー用
D - USB	USB用	I - DC 20V	AC電源アダプター用
E - HDMI ARC	HDMIケーブル用 (ARC)		

⚠ 注意

- 接続する機器によっては付属のケーブルで接続できない場合があります。別途ケーブルをお買い求めください。
- 光デジタル接続時は出力機器側(テレビなど)の設定が必要な場合があります。出力機器側の取扱説明書を確認してください。
- HDMI (ARC) 接続をする場合はテレビ側もARCに対応している必要があります。

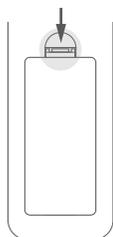
各部名称と働き

リモコン

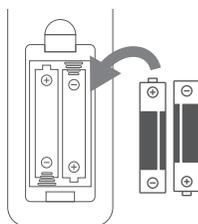


電池の入れ方

裏側の電池カバーを外し、+、-（プラス、マイナス）の向きをリモコンの表示にあわせ、単4形乾電池2本（別売）をマイナス側から入れてください。



1. 上のツマミを指で押してカバーを外す

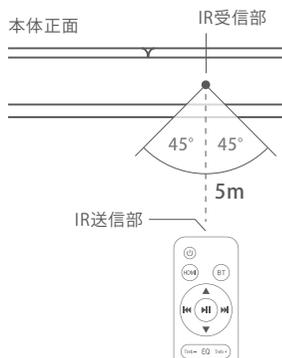


2. +、-（プラス/マイナス）の向きに気をつけて入れ、カバーをはめる

使い方

本体正面のIR受信部に向けてリモコンのIR送信部を向けて操作してください。

※受信範囲は下記をご覧ください。（推奨）



注意

- ・リモコンは本体に向けてご使用ください。
- ・使用时、落として壊さない、また液体をこぼさないよう、ご注意ください。
- ・リモコンを熱源の近く、直射日光、湿気の多い部屋に置かないでください。

壁掛け用部材

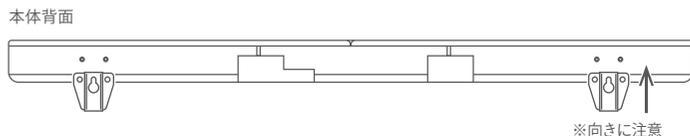
本製品は付属の壁掛け用部材を使用し壁に取り付けることが可能です。
手順に従い取り付けてください。

※取り付ける壁の強度を必ず事前に確認してください。



1 壁掛け用パーツを本体背面に設置する

付属の壁掛け用パーツを本体背面に本体取付ネジ(小)で取り付けます。



2 固定用ネジ(大)を壁に取り付ける

垂直な壁に固定用ネジ(大)x2を水平になるよう取り付けてください。

※取り付ける壁の強度を必ず事前に確認してください。

※コンクリートプラグはコンクリート壁に取り付ける際にご使用ください。



3 サウンドバー本体を壁に取り付ける

本体側の壁掛け用パーツの穴に壁側のネジの先端を引っ掛けてください。

⚠ 注意

- ・壁の材質や強度をご確認ください。材質によっては破損するおそれがあります。
- ・ネジは柱など下地がしっかりした場所に固定してください。
- ・スピーカーは必ず水平に取り付けてください。
- ・安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- ・取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、一切責任を負いません。

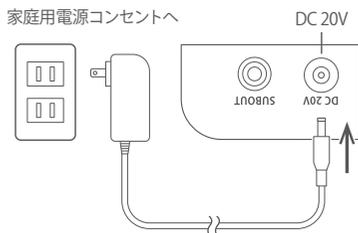
基本的な使い方

1 電源を入れる

主電源がOFFになっていることを確認し、背面の「DC 20V」端子に電源ケーブルをしっかりと奥まで差し込み、リモコンまたは本体の電源ボタンを押し、電源をONにします。

※ 電源アダプタが極端に発熱した場合は直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

接続方法



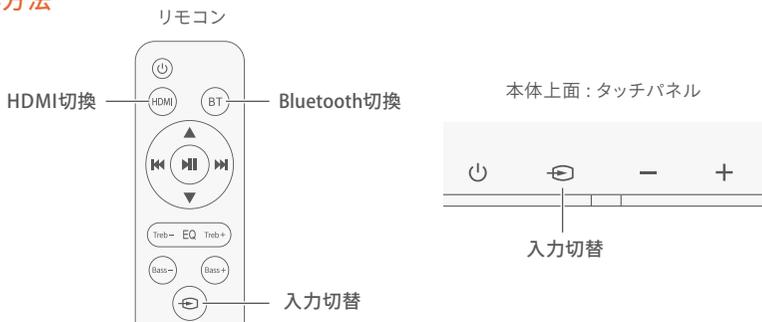
操作方法



2 入力モードを選ぶ

各機器の音声出力端子に合わせて必要なものを接続し、リモコンまたは本体の入力切替ボタンやHDMI切替ボタン、Bluetooth切替ボタンを押し、入力モードを切り換えてください。

操作方法



各入力モードのLED表示

※ 各入力モードの接続の仕方は10-16ページをご覧ください。

※ 順番:



3 音量の調整

リモコンや本体操作によってLED表示を確認しながら音量の調整を行ってください。

操作方法



LED表示

LED表示を見ながら大きさを確認(33段階)



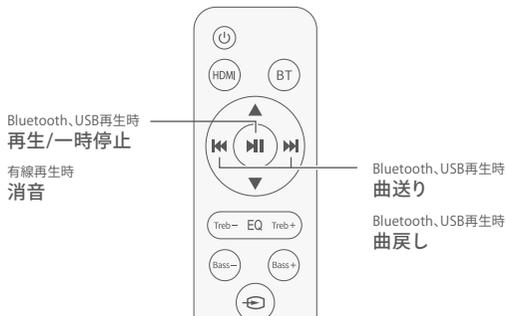
「00」から「32」まで段階が表示されます

4 音声の再生 / 選曲

繋げた機器、またはリモコンを使って音声を操作してください。

※音楽再生アプリや接続デバイスによっては曲送りや曲戻しに対応していない場合があります。

操作方法



基本的な使い方

5 サウンドモードの切り替え

リモコンのEQボタンを押し音源の内容に合わせてサウンドモードを設定してください。

操作方法



LED表示とその内容

以下のサウンドモードからお好みの設定を選択してください。

EQ-0

MUSIC

音楽を聞くときに最適です。

EQ-1

MOVIE

音の密度広がりを実現します。
映画を観るときに最適です。

6 高音/低音の調整

EQボタンで設定した音色をさらにTrebleボタン、Bassボタンで調整することによりお好みの音色にカスタマイズすることができます。

操作方法



LED表示とその内容

表示を見ながらお好みの設定をしてください。

Treble (高音): 11段階

TR -5 ~ TR 0 ~ TR +5
- 5 0 + 5

Bass (低音): 11段階

BS -5 ~ BS 0 ~ BS +5
- 5 0 + 5

7 電源を切る

使用後は電源ボタンを押して電源をオフにしてください。

※長時間使用しない場合は、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続の仕方

Bluetooth 接続

Bluetooth接続が出来るBluetooth機器(スマートフォンやタブレットなど)と接続(ペアリング)すると音声をワイヤレスで聞くことができます。

必要なもの

Bluetooth接続が可能な機器

1 入力モードを変更する

リモコンのBTボタン、または本体側の入力切替ボタンを押して入力モードをBluetooth接続に変更します。



LED表示を「bt」に切り替える

2 外部機器を繋げる(ペアリングする)

本体のLED表示パネルが点滅しているのを確認してから、繋げたいデバイスのBluetooth機能をオンにし、リストが表示されたら“FunLogy MUSIC”を選択します。
(パスワードを要求された場合は「0000」を入力します。)

ペアリングが完了するとLED表示が点滅から点灯に変わり、メロディーが流れます。



LED表示が点滅時は
ペアリング待機状態



リストが表示されたら
“FunLogy MUSIC”を選択
※パスワードは「0000」



LED表示が点灯になると
ペアリング完了

ペアリングを解除するには、接続している機器からペアリングを解除するか、リモコンの再生ボタンを長押しすると解除することができます。

⚠ 注意

- ・2回目以降の接続はサウンドバー本体の電源ON、またはBluetooth機器側でBluetooth機能を有効にした際に自動接続されます。
- ・新しくBluetooth機器を接続したい場合は、現在接続しているBluetooth機器のBluetooth機能を無効にしてください。

安全上の注意

各部名称と働き

基本的な使い方

接続の仕方

その他

接続の仕方

USB接続

USBメモリなどを使用し音楽を聞くことができます。

必要なもの

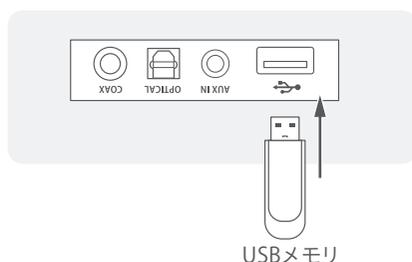
USBメモリ

対応ファイル形式 : MP3 / WMA / APE / WAV / FLAC
対応フォーマット : FAT / FAT32 / NTFS

1 USBメモリを繋げる

USBメモリを本体背面の差込口に差し込む。

接続



LED表示

USBメモリ差込直後



USB接続するとLED表示が「USB」に切り換わります。

再生中



自動再生が始まり、表示が楽曲の再生時間に切り換わります。

一時停止中



一時停止ボタンを押すと「PAUS」と表示されます。

選曲中



選曲ボタンを押すと楽曲の順番に応じて番号が表示されます。

⚠ 注意

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録音状態によって再生できない、または無音で再生されることがあります。
- パソコンで編集したファイルは再生できないことがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) などで保護されたファイルは再生できません。

AUX (ライン) 接続

テレビや再生機器などのオーディオ出力・イヤホンジャック等に接続します。

必要なもの

3.5mm ステレオケーブル (付属品) または、RCAステレオケーブル (別売)

1 入力モードを変更する

リモコンまたは本体の入力切替ボタンをLED表示が「AUX」に切り替わるまで押す。



LED表示を「AUX」に切り換えます。

2 外部機器を繋げる

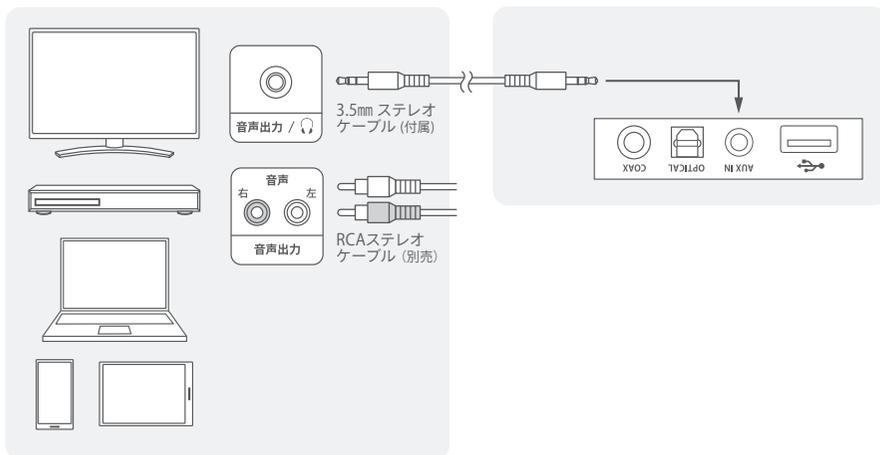
付属の3.5mmステレオケーブルまたはRCAステレオケーブル (別売) を所定の場所に接続する。

出力側

オーディオケーブル差込口にケーブルを差し込む

本体側 (入力側)

AUXにケーブルを差し込む



接続の仕方

OPTICAL (光デジタル) 接続

テレビや再生機器などの光デジタル音声出力に接続します。

必要なもの

光デジタルケーブル (付属品)

1 入力モードを変更する

リモコンまたは本体の入力切替ボタンをLED表示が「OPT」になるまで押す。



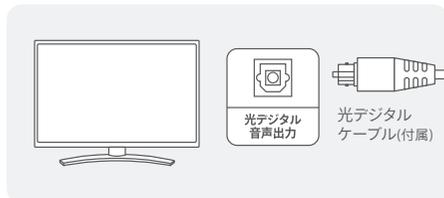
LED表示を「OPT」に切り換えます。

2 外部機器を繋げる

付属の光デジタルケーブルの先端保護キャップを外し、所定の場所に接続する。

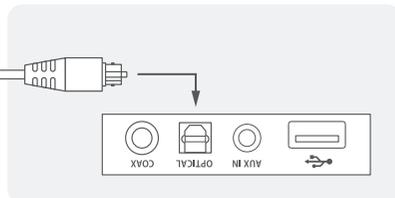
出力側

光デジタル差込口にケーブルを差し込む



入力(本体)側

OPTICALにケーブルを差し込む



⚠ 注意

- 差し込む前に必ず白色の保護キャップを外し、差込口の向きをご確認ください。差込口にはカバーが付いていますが外さずそのまま押し込むように差し込んでください。



- ケーブルを先にテレビなど出力側に接続すると、反対側のケーブル先端の穴が赤く光ります。強い光ですので目を痛める恐れがあります。覗き込まないようにしてください。

COAXIAL(同軸デジタル)接続

テレビや再生機器などの同軸デジタル音声出力に接続します。

必要なもの

同軸デジタルケーブル (別売)

1 入力モードを変更する

リモコンまたは本体の入力切替ボタンにてLED表示が「COX」になるまで選択。



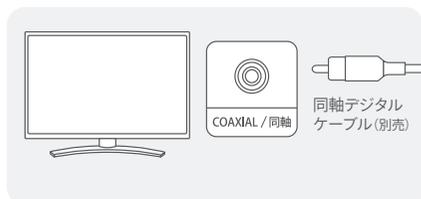
LED表示を「COX」に切り換えます。

2 外部機器を繋げる

外部機器と本機背面のCOAXIAL / 同軸差込口に同軸デジタルケーブルを接続する。

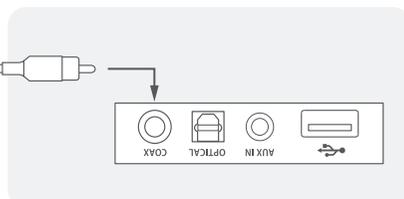
出力側

同軸差込口に同軸デジタルケーブルを差し込む



入力(本体)側

COAXにケーブルを差し込む



接続の仕方

HDMI・HDMI(ARC)接続

テレビや再生機器などのHDMI出力に接続します。

必要なもの

HDMIケーブル(付属品) または、HDMI ARCケーブル(別売)

1 入力モードを変更する

リモコンのHDMIボタン、または本体の入力切替ボタンをLED表示が「HDMI」になるまで押す。



LED表示を「HDMI」に切換えます。



HDMI接続時、それぞれ信号を認識した差込口に合わせLED表示が「Hd-1」「Hd-2」「ARC」に切り換わります。

2 外部機器を繋げる

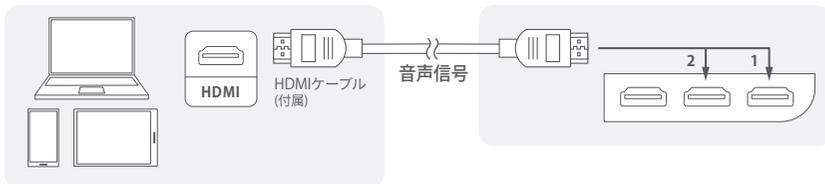
通常接続する場合

付属のHDMIケーブルを所定の場所に接続する。

※同時に再生できません。最初に電源を入れた側が優先となります。

出力側 ※パソコンやスマートデバイスなど(TVは含まない)

入力(本体)側



ARC接続する場合

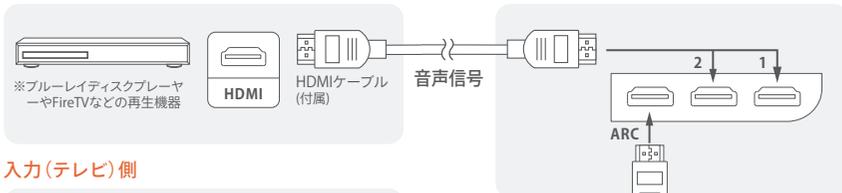
ARC対応のHDMIケーブルと付属のHDMIケーブルを所定の場所に接続する。

※ARC接続したテレビが電源連動機能に対応している場合、テレビの電源を入れた際にスピーカーの電源もONになります。

※ARC接続以外の方法(光デジタルケーブルなど)でテレビと本製品を接続している場合、本製品に接続したブルーレイレコーダーなどの再生機器の映像はテレビに映し出すことは出来ません。

出力側

入力(本体)側



入力(テレビ)側



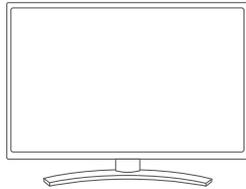
映像信号*

*再生機器を接続していない場合は音声信号に切り換わります。

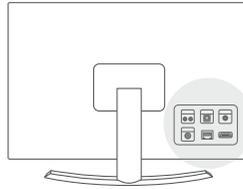
TV(テレビ)に接続する

テレビ本体の背面の出力端子を確認し、それぞれ任意の接続方式に合わせて、入力モードをリモコンまたは本体の入力切替ボタンにて変更します。

TV オモテ



TV ウラ



AUX(ライン)接続(いずれかを使用)
(12ページ)

光デジタル接続
(13ページ)

同軸デジタル接続
(14ページ)

HDMI接続
(15ページ)

TV側
差込口例



必要な
ケーブル
(*は付属品)



本製品側
差込口
(4ページ)



カバーは外さず
そのまま押し込む

入力モード
LED表示



AUX(ライン)接続

光デジタル接続
(OPTICAL)

同軸デジタル接続
(COAXIAL)

HDMI接続

こんなときは

本機の調子がおかしいときは、お問い合わせいただく前にもう一度以下の項目を確認してください。それでも正常に動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。

症 状	考えられる理由
本体や付属品	
電源が入らない。	・電源ケーブルが正しく差し込まれていない可能性があります。奥まで差し込んでください。
リモコンが反応しない。	・電池容量が足りない可能性があります。電池を新品に交換してください。 ・本体までの距離が遠すぎると反応しません。本体の近くで操作してください。 ・本機の前に障害物があると反応しません。障害物を取り除いてください。
大音量で再生した際に本体が熱を持つ。	・正常です。音量を小さくしてください。
電源アダプタが熱を持つ。	・正常です。コンセントに繋いでいる場合は熱を持ちます。 ※異常に発熱する場合、電源アダプタの故障の可能性があります。ただちに使用を中止して販売店に連絡してください。
音が出ない。	・スピーカーの入力設定が異なっている可能性があります。リモコンまたは本体の入力切替ボタンを押して任意の接続を選択してください。(7ページ) ・音量が0、または小さくなっている可能性があります。リモコンまたは本体の音量ボタンを押して音量を上げてください。 ・ケーブルがきちんと装着されているかご確認ください。
本体LED表示	
時刻の設定ができない。	・本製品には時刻の設定機能はございません。
光ケーブル接続時	
音が出ない。	・出力機器側(テレビやDVDプレイヤー)の音声出力設定が正しくされていない可能性があります。以下を試してください。 ① 出力機器の音声出力が光デジタルになっていることを確認する。 ② ドルビーデジタルをオフにする。 ③ PCM音声に切り替える。 ※ 方法につきましては、お手数ですが出力機器のメーカーへお問い合わせください。 ・別ケーブルでの接続をお試しください。再生機器との相性で光デジタルケーブルとの接続で音が出ていない可能性があります。
USB接続時	
曲が再生できない。	・ファイル形式、又はフォーマット形式をご確認ください。(11ページ)

症状	考えられる理由
Bluetooth接続時	
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> Bluetoothが接続されていない可能性があります。Bluetooth機器の再起動・再接続をしてください。 Bluetooth機器の音量が小さい可能性があります。Bluetooth機器側で音量を上げてください。
サウンドバーとBluetooth接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続先の電源が入っていない、またはBluetooth機能が有効になっていない可能性があります。Bluetooth機器の電源を入れる、またはBluetooth機能を有効にしてください。 Bluetooth機器と本体の距離が遠すぎる可能性があります。Bluetooth機器を本機にできるだけ近づけてください。 無線LANや他の2.4GHz無線機器、電子レンジなどの影響を受けていないか確認してください。電磁波を発生する機器がある場合は、その機器を本機から離してください。 他のBluetooth機器が近くにあるとペアリングできない場合があります。その場合は、そのBluetooth機器の電源を切ってください。
HDMI(ARC)接続時	
テレビとのHDMI電源連動機能が機能しない	<ul style="list-style-type: none"> 接続したテレビがHDMI(ARC)に対応している必要がございます。メーカーにお問い合わせください。
その他	
音の広がりがあり感じられない。	<ul style="list-style-type: none"> 本製品はサラウンドスピーカーではないため、大きな広がりではなく、自然な広がりとなります。
低音があまり感じられない。	<ul style="list-style-type: none"> 小さなボリュームでは感じ取りにくい場合があります。一度大きな音にしてお試しください。
ストリーミングデバイス【Fire TV Stick】で音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 本製品の不具合ではなく、Fire TV Stick側で下記の設定が必要な可能性があります。 <ol style="list-style-type: none"> [設定] > [ディスプレイとサウンド] > [オーディオ] > [Dolby Digital出力] を選択 Dolby Digital Plus を自動またはOFFに設定してください。 4K対応のFireStickの場合は、サラウンド音声をステレオ音声に設定してください。

その他、疑問点やご不明点などございましたら、公式サイトのお問い合わせフォーム、または公式LINEよりお問い合わせください。

公式LINEでは新製品情報や購入者限定のお得な情報もお届けしております。是非ご登録ください。(21ページ)

主な仕様

モデル	FunLogy MUSIC	
製品サイズ	W 998 mm x D 115 mm x H 56 mm	
製品重量	3.3 kg	
ツイーター	スピーカユニット	1.75インチ x4
	出力	10W x4
	インピーダンス	4Ω x4
ウーファー	スピーカユニット	4.3インチ x4
	出力	15W x4
	インピーダンス	4Ω x4
再生周波数帯域	40 Hz ~ 20k Hz	
SN比	85dB 以上	
入力感度	700±50mV	
Bluetooth	ver 4.2	
ディストーション	0.5% 以下	
最大通信距離	10m (障害物が無い場合)	
対応音声フォーマット	MP3、WMA、APE、WAV、FLAC	
入力インターフェース	HDMI x2、HDMI(ARC) x1、 光デジタル、COX、3.5mm AUX	
出力インターフェース	SUB OUT	
電源	DC 20V - 1.8A	
消費電力	30W	
その他	LED ディスプレイ表示	
付属品	リモコン、HDMIケーブル、光デジタルケーブル、 AC電源アダプター、壁掛け用部材、取扱説明書(保証書)	

※ 本機は日本国内専用です。海外でのご使用は保証対象外となります。

※ 仕様および外観は改良のため予告なしに変更することがあります。

※ 実機と異なる場合は、実機の仕様・外観が優先されます。

主な機能

- ・AUX入力、コアキシャル入力、光デジタル入力による有線接続による音声再生
- ・USBメモリ内の音声、音楽ファイルの再生
- ・Bluetoothを利用した各種機器の再生

USBメモリで再生できる音声ファイル

USBメモリは必ず以下のフォーマットのものをご使用ください。

対応フォーマット : FAT / FAT32 / NTFS

対応ファイル形式 : MP3 / WMA / APE / WAV / FLAC

※ ファイルのフォーマットや圧縮状況、録音状態によって再生できない、または無音で再生されることがあります。

※ パソコンで編集したファイルは再生できないことがあります。

※ デジタル著作権管理(DRM)などで保護されたファイルは再生できません。

Bluetooth無線技術

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応Bluetoothバージョン

Bluetooth標準規格Ver. 4.2 対応プロファイル

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : 高音質な音楽コンテンツを送受信する

AVRCP (Audio Video RemoteControl Profile) : 再生、一時停止、停止など、AV機器を操作する

※ Bluetooth機能を使うには、相手側 Bluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。

※ Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、受信側での再生が僅かに遅延する場合があります。

保証とアフターサービス

保証書

この製品には本取扱説明書に保証書が添付されています。(本書裏表紙) 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

※ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまず「こんなときは」(17-18ページ) を参考にして故障かどうかを点検してください。それでも解決できないときは販売店の相談窓口へお問合せください。販売店の相談窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

[製品の型名 / 接続している機器のメーカーと型名 / 故障の状態 / 購入年月日]

保証期間中の修理について

保証規約に基づいて修理させていただきます。詳しくは次項、「無料保証規定」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。ただし、故障の状況やその他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

お問合せ窓口 [営業時間：平日 10:00～17:00]

※営業時間外、土日祝日にいただいたお問い合わせにつきましては、翌営業日より順次対応させていただきます。

電話 : 043-441-3887
公式サイト : funlogy.jp
メール : support@funlogy.jp
公式LINE : FunLogy



公式サイト



メール



公式LINE

無料保証規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。送料につきましてはご購入後1ヶ月以内の不良（初期不良保証）の場合は当店が送料を負担いたします。ご購入後1ヶ月を経過した場合、1年以内の故障の場合は送料お客様負担となります。本書記載の修理対応の内容をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行いたしませんので大切に保管してください。）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口は（1）お買い上げの販売店、又は、（2）本書記載のお問い合わせ窓口になります。
2. 保証期間内でも次の場合には有料となります。
 - （1）本書のご提示がない場合
 - （2）本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合
 - （3）お買い上げの年月日、販売店が確認できない場合
 - （4）保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合
 - （5）使用上の誤り（取扱説明書の注意書きに従った正常な仕様をしなかった場合を含む）による故障・損傷
 - （6）他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷
 - （7）お買い上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷
 - （8）火災、自身、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷
 - （9）業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷
 - （10）消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
3. 故障状況その他事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
5. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
8. 機器にインストールされたアプリのアップデートによりアプリが使用できない場合の保証はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。日本国外で発生した故障、事故、または日本国外で使用された場合につきましてはいかなる内容も保証いたしません。

※本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間後の修理については取扱説明書をご覧ください。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

保証書

製品名	FunLogy MUSIC サウンドバー
保証期間	ご購入日より 1 年間
ご購入日	年 月 日
お客様情報	お名前・ご注文番号
	販売店・ご注文サイト

- ※本書はお買い上げの日から下記期間中に正しい使い方をして故障が発生した場合に、無料修理を行うことをご約束するものです。**再発行いたしませんので大切に保管してください。**
- ※ご購入から1年を経過した商品については、有償対応となりますのでご了承ください。
- ※有償修理において部品の調達ができない場合は、修理不可となる場合もあります。
- ※お買い上げいただいた製品のレシート又は各種ショッピングサイトの注文番号と一緒に保存してください。

お問合せ窓口

[営業時間 : 平日 10:00~17:00]

電話 : 043-441-3887
公式サイト : funlogy.jp
メール : support@funlogy.jp
公式LINE : FunLogy



公式サイト



メール



公式LINE

※営業時間外、土日祝日にいただいたお問い合わせにつきましては、翌営業日より順次対応させていただきます。

安全上のご注意

各部名称と働き

基本的な使い方

接続の仕方

その他

